

第 4 回 新潟市美術館及び新潟市新津美術館協議会 部会 議事要旨

- 1 期 日 平成 25 年 11 月 14 日 (木) 13 時～15 時
- 2 会 場 新潟市美術館 講堂
- 3 出席者〈委員〉 金山座長, 大倉委員, 福永委員, 降旗委員
〈事務局〉新潟市美術館 塩田館長, 井関副館長, 大谷総務係長, 松沢学芸係長,
荒井主査 (学芸員), 上池学芸員, 山岸学芸員
新潟市新津美術館 横山館長, 高橋副館長, 大森主査 (学芸員), 小林主査 (学芸員),
小熊主査
- 4 検討テーマ 新潟市美術館及び新潟市新津美術館の教育普及事業について
- 5 要 旨

(事務局) 新潟市美術館と新潟市新津美術館の教育普及事業の内容と課題について説明。

(降旗委員) 先進事例の紹介。

○オープンギャラリーの課題について

(事務局)

・「教師による」授業についての理解が得にくいようだ。協働のかたちが望ましい。リピート利用はあるが、尻込みしている教員への支援こそが必要か。

(委員)

・教員と年に数回ほど集まって、館をどう活用するか話し合ったり、共通でプログラムや教材開発ができるとう理想的。

・画材の教材などは取っ付きやすい。簡易な物なら、工夫して作れるのではないか。

・授業を行うのが、教員なのか学芸員なのかは、ゆるく考えて「一緒に」が良い。

○出前美術館の課題について

(事務局)

・学校所蔵品の作家や出身作家, 地元作家の作品の「鑑賞」→「つくる」へと変化した。

・好評である半面, 美術館が行う意味が不明瞭になっている。

(委員)

・単館では負担が重いので, 大学や学生ボランティア, 他施設と連携してはどうか。

・出向いてのワークショップが公立館が行うべき文化施策なのかの整理も必要。

○教職員視察ウィークの課題について

(事務局)

- ・まず、気軽に来館してもらい、距離を縮めるねらい。
- ・次のコミュニケーションに繋がりにくいため、改良したアンケートを分析し、次に活かしたい。

(委員)

- ・良い制度なので、ぜひ続けて、利用を増やすべき。
- ・「視察」など固いイメージなので、ネーミングや文章に工夫の余地がある。
- ・決まった曜日に学芸員がいる、懇談してみませんか、というのはいかがでしょうか。

○教育普及事業の「目的」について

(委員)

- ・時代とともに子どもも親も変化している。見直しは必要。3年5年の長いスパンで目標を定めてはどうか。
- ・限られた予算や人員の中なので、思い切って取捨選択も必要。市内にある他の美術館との役割分担も意識しては。
- ・一方的な解説（受動的）と異なり「能動的な鑑賞者を増やす」ことが目的。
- ・やる側が楽しいかどうか、先生が楽しいかどうか、子どもは敏感。
- ・美術館は市民の幸福感のためにあると思う。一度リセットして意味を話し合い、さらに楽しいものにしてほしい。

○まとめ

いただいたご意見をもとに、両館で検討をしていくこととなった。

2013.11.14

オープンギャラリー

▪ 事業内容

対象学校が団体来館し、教員が主となって美術館で授業を行う。交通手段の確保が難しい学校には希望により館が送迎バスを手配する。

- 対象：市内の幼稚園、保育園、小学校、中学校
- 募集期間：4月1日～5月15日（必着）（前年度3月の校長会にて周知）
決定5月31日
- 実施期間：6月中旬～翌年2月末日
- 実施2ヶ月前より美術館にて下見・打合せを行いプログラムを決定
- バス利用の場合その費用を館が負担

平成20年度より実施・継続事業

【課題】

- バス利用の需要は認められるが「教師による」授業についての理解がやや得にくいようである。
- 美術館として作品鑑賞のアドバイスは行っているが、前後の授業計画は教師主導で行われている。協働授業のような形式が望ましいのではないかと。
- バスの需要に応えるという点では応募枠が少なすぎるきらいがある。この事業を全市域・学校が実現できるという展望を持ちにくい中で何を指すか再検討する必要がある。

出前美術館

▪ 事業内容

学芸員同伴のもと作品・作家（任期2年間・現在4名在籍（うち2年目が3名））を学校に派遣し、作品鑑賞・講演会・ワークショップ等を通じて美術に親しむプログラムを提供する。平成25年度より新津美術館と分担し行っている。

- 対象：市内の小学校、中学校、高等学校
- 募集期間：4月1日～5月15日（必着）（前年度3月の校長会にて周知）
決定5月31日
- 実施期間：6月～12月
- 実施1ヶ月前を目安に作家と館側担当者が学校にて下見・打合せを行う
- 講師謝礼・旅費・運搬費等を館が負担

平成22年度秋より継続事業

【課題】

- 一定の評価を得ており応募は増加傾向にあるが、人的・予算的に応じきれなくなりつつある。
- 「美術館」そのもの（美術館の機能、展覧会の内容、収蔵品など）との関連が薄くなりがちで、「来館」にはつながりにくい。
- 講師・作品に対する負担が大きい。

教職員視察ウィーク

事業内容

企画展冒頭の1週間を市内教職員に対して無料観覧とすることで、作品や美術館に親しんでもらい、美術館利用を促進する。特別な免除申請を行わずとも、気軽に来館できる環境を整える。

- 対象：市内の幼稚園、保育園、小・中・高等学校、特別支援学校に勤務する教職員

経緯

2010年11月に中学校の美術教員を対象とした「意見交換会」を開催したことを機に導入。美術館利用に関するアンケートを実施していたが今年度秋より内容を見直し、美術館から教職現場の声を聞きとる好機としてさらなる活用の道を模索中。同時に、教員にもその都度の展覧会に関する「鑑賞のヒント」を提供できるよう工夫を図る。

- 前年度3月の校長会にて周知するとともに、対象展覧会直前に学校宛て文書通達

2009年度より本格運用・継続事業

【課題】

- 教職員とのコミュニケーションも目標の一つとしているが、十分な対応ができておらず、一方利用する教員は限られている傾向がある。
- 利用実態把握・分析がこれまで十分にできていなかったため効果測定も合わせて行っていく。

*参考 その他の教育普及関連事業（定例的なもの）

事業名称	時期・頻度	内容	参加条件等	定員
ギャラリートーク	企画展会期中 日曜日を中心に随時	学芸員による展示作品解説	要当日観覧券 (企画展)	—
	コレクション展会期中 毎月第4土曜日 14:00～		要当日観覧券 (コレクション展)	
ふれあい美術館ガイド	毎月第3日曜日 11:00～	美術館協力会解説部員による所蔵品案内 (建築も含む)	要当日観覧券 (コレクション展)	—
美術講座	年6～7回	学芸員がそれぞれの専門分野の立場から1時間程度講演	無料	先着100名
実技講座	年2回	それぞれ県内・県外より外部講師を招いて作品制作指導	実費程度	原則申込制 30名前後
夏休みこども講座	年1回	バックヤードツアーもしくは工作系ワークショップ	実費程度	原則申込制 30名前後
実習室開放日	毎週金曜日	市民に実習室を制作場所として開放	無料	

新潟市新津美術館の教育普及活動

1. 新津美術館の特徴と経緯

新津美術館では、教育普及活動として展覧会（企画展）の関連イベントや展示解説、学芸員による美術講座などを行っている。また、当館の特徴として、館内中央のアトリウム空間を舞台や客席に見立てて音楽のコンサートやパフォーマンスを行うよう設計されているので、開館当初からその方面にも力を入れて活動してきた。

コンサートは、館内で行う「ミュージアムコンサート」だけでなく、地域の小学校などに演奏家を派遣して行う「アウトリーチコンサート」なども実施してきた。さらに音楽だけでなく、文学作品の朗読・解説と音楽の演奏を融合させた「シーズン&アート」という特色ある事業も長年実施している。

2. 今年度からの新規事業

今年度から、新潟市美術館との連携事業の一環として「出前美術館」を実施している。全体の15回（校）のうち3回（9/12, 10/24, 10/27）を新津美術館で担当し実施したが、その他の前半の3回（6/6, 7/10, 7/19）も学校での打ち合わせに立ち会い、当日も作品運搬などを行い実施に協力した。

また、バスを美術館で手配して、学校側の負担を軽減して鑑賞に来てもらう「オープンギャラリー」も今年度から行う（今年度は2校で11/15, 11/29に実施予定）。

さらに今年度初めて「移動美術館」（9/10～9/23）を開催した。これは、当館所蔵品の一部を、市内近隣の公共施設で公開するもので、今年は「江南区文化会館」（昨年開館）の展示室で開催した。

なお、今年、当館と同じ秋葉区内に、音楽の専門ホールを備えた「秋葉区文化会館」が開館したことから、当館でのコンサート事業の見直しを検討している。

3. 新津美術館の課題

開館（1997年）から2010年まで常設展がなかった。2010年秋から常設展コーナーを設け、現在「コレクション展」として収蔵品の一部を展示公開しているが、館内の一角（約80㎡）を使用しているにすぎないので、他館が行っているような常設展示を用いた鑑賞教育や鑑賞キット（ワークシートなど）の開発を行えていないのが現状である。

【参考】新津美術館の職員数

館長（1）、副館長（1）、常勤（5、うち学芸員2）、非常勤（1） 計8名

平成26年度新潟市美術館展示スケジュール

新潟市美術館

休館

○工事の都合などにより、スケジュールが変更になることもあります。

	4月															5月																																												
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土													
企画展示室																洲之内徹と現代画廊 昭和を生きた目と精神(51日間)																																												
常設展示室	101歳の阿部展也																				コレクション展Ⅰ 気まぐれ拾遺(65日間)																																							

	6月															7月																																												
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木													
企画展示室	洲之内徹と現代画廊															金子孝信展(32日間)																																												
常設展示室	コレクション展Ⅰ 気まぐれ拾遺															コレクション展Ⅱ 初心の絵画																																												

	8月															9月																																												
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29
	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火													
企画展示室																荒木経惟 ~往生写集 愛ノ旅~(51日間)																																												
常設展示室	コレクション展Ⅱ 初心の絵画(42日間)															コレクション展Ⅲ 牛腸茂雄																																												

	10月															11月																																												
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29
	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日													
企画展示室	荒木経惟					第46回市展(前期)					第46回市展(後期)					改修工事により休館																																												
常設展示室	コレクション展Ⅲ 牛腸茂雄(51日間)																																																											

	12月															1月																																													
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土													
企画展示室	改修工事により休館																																																												
常設展示室																																																													

	2月															3月																																										
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火													
企画展示室	改修工事により休館																																																									
常設展示室																																																										

平成26年度 新潟市美術館 事業計画

I 展覧会事業

1. コレクション展

期間	事業名	内容	予算額 (単位:千円)
4月12日～ 6月29日	コレクション展Ⅰ 「きまぐれ拾遺」	同時期に開催する「洲之内徹と現代画廊」展にあわせて、洲之内徹ゆかりの作家の作品を紹介。新収蔵品と修復作品も併せて展示する。	1,269
7月4日～ 8月24日	コレクション展Ⅱ 「初心の絵画」	同時期に開催する「金子孝信展」にあわせて、作家の活動の初期や若い時期に制作された作品を集めて紹介する。	
8月29日～ 10月26日	コレクション展Ⅲ 「牛腸茂雄」	同時期に開催する「荒木経惟」展にあわせて、新潟県加茂市出身の写真家・牛腸茂雄の特集展示を行う。88点の所蔵品のほか、関連資料で構成する。	

2. 企画展

期間	事業名	主催	内容	予算額 (単位:千円)
4月12日～ 6月8日	洲之内徹と現代画廊 昭和を生きた目と精神	新潟市	『芸術新潮』の連載エッセイ「きまぐれ美術館」で知られる洲之内徹の関連作家56人約190点の作品を展示。宮城県美術館、愛媛県美術館、町立久万美術館との共同企画の巡回展。	9,819
6月21日～ 7月27日	金子孝信展	新潟市	1942年、26歳で戦死した新潟市出身の日本画家、金子孝信。新たに発見された作品や下絵、画稿などの資料とともに展示構成する自主企画展。	6,500
8月9日～ 10月5日	荒木経惟 ～往生写真集 愛ノ旅～	実行委員会 (新潟市・新潟日報・NST)	現代日本を代表する写真家、荒木経惟。初期の「センチメンタルな旅」シリーズから、新潟の町を撮影した1980年代の作品、安吾賞受賞を記念して制作された作品、最新作などで構成。	15,000 (内新潟市負担分5,000)

II 教育普及事業

1. コレクション展関連

期 間	事 業 名	内 容
コレクション展Ⅰ	ギャラリートーク	学芸員による展示作品の解説など(4/19、5/17、6/21) 3回
コレクション展Ⅱ		学芸員による展示作品の解説など(7/19、8/16) 2回
コレクション展Ⅲ		学芸員による展示作品の解説など(9/20、10/18) 2回

2. 企画展関連 ※現在開催が決定している事業分のみ

期 間	事 業 名	内 容
洲之内徹と 現代画廊 昭和を生きた目と精神	講演会	「洲之内徹が愛した新潟」 講師:木下晋氏(画家) 開催日:4月27日(日)14:00～ 会場:新潟市美術館講堂
	講演会	「夭折の画家・田畑あきら子をめぐって」 講師:吉増剛造氏(詩人)・大倉宏氏(美術評論家・砂丘館館長) 開催日:5月10日(土)14:00～ 会場:新潟市美術館講堂
	講演会	「洲之内コレクションについて」 講師:有川幾夫氏(宮城県美術館館長) 開催日:5月25日(日)14:00～ 会場:新潟市美術館講堂
金子孝信展	講演会	内容、日時の詳細は調整中
荒木経惟 ～往生写集 愛ノ旅～	作家による講演会	講師:荒木経惟氏(写真家) 開催日:9月7日(土)14:00～ 会場:メディアシップ 新潟日報ホール

3. 学校向け教育普及事業

期 間	事 業 名	内 容
6月～12月	出前美術館	申し込みのあった学校(小学校・中学校・高校)へ、作家とともに出向き、作家の話を聞いたり、作品制作体験などのふれあいの中で、美術の楽しさを伝える。アーティストと作品を出前する事業。今年度の作家は、信田俊郎氏(洋画家)、橋本学氏(新潟大学准教授)にお願いする。
6月～10月	オープン・ギャラリー	学校教員が美術館職員と共に、美術館で開催している企画展・コレクション展の出品作品を通して、作品鑑賞の授業を行う事業。美術館でバスを用意し、児童の送迎を行う。
各企画展開催期間中の1週間	教職員視察ウィーク	教職員に展覧会を視察してもらい、学校との連携事業についてのきっかけづくりを行う。また、オープンギャラリーの事前の打ち合わせもこの期間に行う。

4. 各種講座

期 間	事 業 名	内 容
6月～10月	美術講座	館長および学芸員が各回を担当する講座。全7回を予定。開催中の展覧会に関連した内容または各自の研究に沿った内容で実施。
6月～10月頃	実技講座	作家を講師に招き、実際の制作を中心に行う講座。全2回を予定。
8月	夏休み子ども講座	小中学校の子どもを対象に、館内の探索や実制作によって美術に親しんでもらう講座。今年度は、8月に2回実施予定。

III 調査研究事業

(1) 研究紀要の発行

- ・日頃の調査研究活動の成果や記録を今後の活動に活かすため、新潟市新津美術館と共同で研究紀要としてまとめる。

(2) 年報の発行

- ・美術館の諸活動を他の美術館や関係機関に報告するとともに、今後の活動に活かすため、年報としてまとめる。

IV 収集保存事業

(1) 収蔵・展示環境保全

- ・収蔵庫、展示室の温湿度の管理、定期的な真菌数検査、IPM(総合的有害生物管理)・虫等の生物被害未然防止対策を行う。

(2) 作品保存・修復

- ・作品の額装や修復を行い、作品の状態を良好に保つ。

(3) 作品管理

- ・作品のデータベース化をすすめ、カードとデータの2元管理を行い、事務の効率化を図る。

V 新潟市美術館大規模改修事業

- ・新潟市美術館開館30周年(平成27年10月)を目指し、改修工事を行う。

VI 施設普及事業ほか

- ・美術館ニュース「Wave」の発行、コンサート等施設普及イベントの実施等を予定。

平成26年度 新潟市新津美術館 事業計画

I 展覧会事業

1. 所蔵品展

期間	展覧会名	内容
4月19日～ 6月1日	I. 春の花と佐渡の風景	日本画の桜や菖蒲、チューリップの写真などと笹岡一が描いた佐渡の風景を展示
6月14日～ 8月17日	II. 東欧の絵本原画	ブラチスラヴァ世界絵本原画展(BIB)の1998年日本巡回展の出品作品を展示
8月30日～ 11月3日	III. 関屋俊彦・新潟の風景	洋画家・関屋俊彦が見つめ続けた新潟の風景を油彩や連作版画により展示
1月4日～ 3月8日	IV. 金属造形と新潟	企画展「メタルズ！」にあわせ、新潟の金属造形作品などを展示

2. 企画展

期間	展覧会名	主催	内容	予算額 (単位:千円)
4月19日～ 6月1日	川島小鳥写真展「未来ちゃん」 南区の隠れた名品展	実行委員会 (新潟市・BSN)	若手写真家 川島小鳥が佐渡で一人の幼い少女の無邪気な日常生活を撮影し、第42回講談社出版文化賞「写真賞」を受賞した話題作の写真展。《巡回展》 あわせて、今回でシリーズ3回目となる南区の公共施設などにある美術品を調査し、隠れた名品を展示紹介する。《自主企画展》	7,147 (うち新潟市負担分6,147)
6月14日～ 8月17日	チェブラーシカとロシア・アニメーションの作家たち展	新潟市	2014年に在新潟ロシア連邦総領事館開設20周年を記念し、新潟でオープニングを開催するロシア文化フェスティバルIN JAPANの事業のひとつ。1966年エドワード・ウスペンスキーの童話から誕生し、国民的キャラクターとなったチェブラーシカが人気キャラクターになる過程を紹介するとともに、ロシアアニメーションの魅力を紹介する。《巡回展》	9,095
8月30日～ 10月17日	ふるさとの作家たち展 —新潟日報社所蔵作品による—	新潟市	新潟日報社は創立65年を超える歴史の中で、常に新潟県の情報発信を担い、地域の芸術文化の振興にも力を注いできた。新潟日報社が所蔵している美術作品は、新潟県出身作家とのかかわりも深い。このたび、新潟日報社所蔵の日本画・洋画・書・工芸・彫刻とそれぞれの分野で活躍した作家たちの作品を中心に紹介する。《自主企画展》	5,802
11月8日～ 12月25日	絵本原画展きかんしゃトーマスとなかまたち	実行委員会 (新潟市・TeNY)	1945年に絵本として出版された「きかんしゃトーマス」。今では世界185の国と地域、30か国語でテレビ放送され、長編映画も製作・公開されている。長年にわたり愛され続けているこの「きかんしゃトーマス」の世界を、4人の画家による絵本原画やスケッチ、アニメーションで使用されたジオラマや映像などによって紹介する。《巡回展》	10,000 (うち新潟市負担分7,000)
1月24日～ 3月8日	メタルズ！—変容する金属の美—	新潟市	古代から近代までの金属にゆかりの深い地域の四つの美術館・博物館が連携して行う共同企画の展覧会。全国四会場を巡回する。古代・中世・近世の出土品や伝世品から、近代・現代の美術作品や産業製品まで、金属工芸作品の数々を紹介する。《自主企画(公立4館・高岡市美術館、碧南市藤井達吉現代美術館、北九州市立自然史・歴史博物館、新潟市新津美術館を巡回)》 (地域創造「平成26年度公立美術館巡回展支援事業」補助対象事業)	11,707 (うち新潟市負担分6,707)

3. 共催の展覧会

期 間	事業名	主催	内 容
1月4日～ 1月17日	第11回 新潟教育アート展	下越美術教育研 究会	下越地区を中心に、県内の保育園、幼稚園、小中学生、高校生の作品の展覧会

4. その他の展覧会

期 間	事業名	主催	内 容
9月9日～ 9月23日	移動美術館	新潟市	新津美術館の所蔵品を他地域の展示施設を会場に紹介する展覧会 「移動美術館」を開催 会場：江南区文化会館内郷土資料館展示室
10月25日～ 11月3日	第8回 秋葉区美術展覧会	秋葉区	秋葉区に在住・勤務する市民の作品による展覧会

II 教育普及事業

1. 企画展関連 ※現在開催が決定している事業分のみ

展覧会名	事業名	内 容
川島小鳥写 真展	トークショー	川島小鳥「未来ちゃん」トークショー 出演：川島小鳥(写真家)+ゲスト 祖父江慎(ブックデザイナー) 開催日：4月19日(土)午後2時～3時 会場：新津美術館1Fレクチャールーム
	講演会	「未来ちゃん」の魅力語る(仮題) 講師：川島小鳥(写真家)×谷川俊太郎(詩人) 開催日：5月6日(火・祝)午後2時～3時 会場：新津美術館1Fレクチャールーム
チェブラーシ カ展	講演会	作家ウスペンスキー講演会 開催日：6月14日(土) 会場：新津美術館1Fレクチャールーム
	写真展	ロシア所蔵「明治古写真展Ⅱ～街の風景～」 期間：6月20日(金)～29日(日) 会場：新津美術館1F市民ギャラリー 主催：ロシア文化フェスティバル日本組織委員会

2. 学校向け教育普及事業

期 間	事業名	内 容
6月～12月	出前美術館	申し込みのあった学校(小学校・中学校・高校)へ、作家とともに出向き、作家の話を聞いたり、作品制作体験などのふれあいの中で、美術の楽しさを伝える。アーティストと作品を出前する事業。
6月～12月	オープンギャラリー	学校教員が美術館職員と共に、美術館で開催している企画展・所蔵品展の出品作品を通して、作品鑑賞の授業を行う事業。美術館でバスを用意し、児童の送迎を行う。
各企画展 開催期間中	教職員視察研修	教職員に展覧会を視察してもらい、学校との連携事業についてのきっかけづくりを行う。

3. 各種講座

期 間	事 業 名	内 容
9月～10月	美術講座	「ふるさとの作家たち展」にあわせて、新潟の作家や作品関連の講座を行う。詳細は未定。

III 調査研究事業

(1) 研究紀要の発行

- ・日頃の調査研究活動の成果や記録を今後の活動に活かすため、新潟市美術館と共同で研究紀要としてまとめる。

(2) 年報の発行

- ・美術館の諸活動を他の美術館や関係機関に報告するとともに、今後の活動に活かすため、年報としてまとめる。

IV 収集保存事業

(1) 収蔵・展示環境保全

- ・収蔵庫、展示室の温湿度の管理、定期的な真菌数検査、IPM(総合的有害生物管理・虫等の生物被害未然防止対策)を行う。

(2) 作品保存・修復

- ・作品の額装、修復を行い、作品の状態を良好に保つ。

(3) 作品管理

- ・作品のデータベース化をすすめ、カードとデータの2元管理を行い、事務の効率化を図る。

V 施設普及事業ほか

(1) ミュージウムコンサート

- ・新津美術館の特徴であるアトリウム空間を活用して、コンサートを実施する。

(2) シーズン&アート

- ・季節ごとにテーマを設定し、文学作品の朗読・解説と音楽を融合した公演を実施する。

(3) 利用者にやさしいサービス

- ・各展覧会会期中の毎月第2・第4の木曜・土曜日に「託児サービス」を実施する。
- ・各展覧会会期中の毎月第1・第3の木曜・日曜日に、親子で語り合いながら鑑賞できる「こどもタイム」を実施する。
- ・各展覧会会期中に1～2回は月曜日を閉館する「あいてマンデ～」を実施する。

(参考) 新潟市新津美術館の職員体制(8人)

館長 1人

副館長 1人

学芸担当職員 2人

総務担当職員 3人(うち1人は学芸担当兼務)

非常勤職員 1人